

平成 29 年度 健やか力検定 講評

全体で青森市内の 4 大学より 141 名がこの検定に参加されました。概要をお知らせします。

1. 「健やか力の知識」では、6 割以上正解だった合格者は 109 名、77.3%でした。

個別問題の正答率は別途示していますが、
正答率 **40%未満**の 5 問題につき解説します

問 19 (正答率 37%)

妊娠中の喫煙が胎児に及ぼす影響についての質問です。設問中、起こらないのは乳児期の発がんですが、小児がんについての一定の知識があれば解けたでしょうが、かなり難しかったようです。

問 27 (正答率 31%)

歯周病は糖尿病や動脈硬化など多くの全身的な病態と関連しますが、それを問う質問です。それ自体は次第に認識されてきていますが、関連する病態の全体像はまだ十分認識されていないようです。

問 32 (正答率 33%)

青森県の自殺死亡者総数についておおよその知識を問う問題です。難しい問題でした。平成 22 年までは 400 人を超えていましたが、その後次第に減少し、平成 25 年には 311 人、27 年には 267 人となっています。

問 39 (正答率 35%)

厚生労働省「健康づくりのための活動指針 2013」では<18~64 歳の身体活動（生活活動・運動）の基準>として、「強度が 3 メッツ以上の身体活動を 23 メッツ・時/週 行う。具体的には、歩行又はそれと同等以上の強度の身体活動を毎日 60 分行う。」としています。

問 42 (正答率 31%)

平成 26 年度から肺炎球菌ワクチンは高齢者に定期接種となりました。それを問う問題です。年齢的には 65 歳以上（一定の病状がある場合は 60 歳以上）とされています。まだ、歴史も浅く、十分知られていないようです。

2. 「健やか力の評価」については、全体の平均点は 11.02 (25 点中) でした。得点が低いほど自己評価が高いことになり、すべてを平均的と考える場合は計 15 点となりますので、全体として高い自己評価だったこととなります。なお平成 28 年は 11.12 点でしたので、ほぼ同様です。ちなみに、「健やか力の知識」とは相関（“自己評価が高い人ほど、知識がある” など）は 28 年度と同様、認められませんでした。